

3 月度例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子
		報告日	03/25		
山 域	鈴鹿山脈	山行日	13 年 03 月 16 日(土)		
山 名	藤原岳*****				

山行目的	春の花を愛でる	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	---------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 竜ヶ岳

3/16 晴れ  
05:55 豊橋(自宅)発  
08:10 西藤原小駐車場  
08:25 駐車場発  
08:35 藤原岳大貝戸道登山口  
09:30 5 合目一本(10 分)  
10:45 避難小屋一本(5 分)  
11:10 藤原岳山頂見晴らし台  
(昼食 20 分)  
11:50 避難小屋  
12:10 天狗岩(10 分)  
12:40 避難小屋  
13:20 8 合目一本(10 分)  
14:20 駐車場着  
15:30~17:30 温泉♨️&食事  
20:00 豊橋(自宅)着



山行報告 偶然に妻との二人山行となり、予定通りに6時前に自宅を出発。8時前に登山口に到着するも、車の駐車スペースなし。“さすがに人気の山”、修正地図にあるPを目指して聖宝寺方面へと車で向かう。西藤原小の所に登山者用駐車場を発見。駐車場のおばさん曰く、「福寿草はまだ咲いてない。カタクリはあるかも?でも、山登りにはいい日だね!」。半ばガッカリ、半ば期待して歩き出す。まずは、ストックの長さを調整しつつ、ポレポレと登山口を目指す。登山口を過ぎて、ストックの調子が悪く、いつも以上にポレポレと登っていると、数パーティに追い越されてしまった。気にする事なく、自分たちのペースで登る。それでも、一気に5合目まで登って1本。二人で登る時、恒例となった団子を食べる。整備された道を着実に登り、8合目近くになって、ようやく雪が出てきた。8合目からは、雪もしっかりと残っている。スパッツを着け、冬道・夏道のどちらを行くか、思索した後、階段状に足跡がついた冬道の方を辿ると、雪が溶けた場所と雪のある所が入り混じって、福寿草の蕾が、チラチラと顔を出す。やがて、福寿草の花を見つけて、二人で歓喜。写真を撮って、急な斜面を攀じ登る内に、夏道と合流。そうこうしている内に、避難小屋へ到着。例会パーティを探すも見つからず。妻も元気で、疲れも感じていない様なので、例会パーティが、天狗岩→藤原岳だったと勘違いし途中で会えるだろうと、藤原岳を目指す。11時過ぎに山頂へ到着、少々風はあるも、寒い程でもなく、少々早い昼食のお握りを食べる。20分程、頂上で過ごし、避難小屋へ。もう一度、例会パーティを探すも、見つからず。計画書を確認し、勘違いに気づく

も遅かった。避難小屋で待つか、天狗岩へ先に行けば・・・合流は無理と分かり、時間もたっぷりあり、天狗岩まで足を延ばす。天狗岩を往復しては、夏道を下山。福寿草を探すも、こちらは見つからない。雪道をゆっくり下りるが、時折、滑って尻セード。8合目で小休止し、雪がなくなった所でスパッツを外し、駐車場まで一気に下山。下山後、携帯を見ると、2時頃に亀さんからの着信が残ってる。電話してみると、温泉でたこと事。ずっと、すれ違いの山行だった。

リーダー所見

2月に、他のメンバーと登った時に比べ、随分と雪は溶けて、安心して登れた。例会パーティの計画書をきちんと確認出来ていなかった為に、上で会えなかったのは残念ではあるが、群落ではなかったものの、福寿草の花も見え、適当に雪道を楽しめたと思う。天気も良く、いい山行であった。



ヤッター 山頂です!

確認  
(リーダー)

津田

13.3.27

作成  
(報告者)

津田

13.3.27